

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年01月07日

計画の名称	都城市における『循環のみち下水道』の持続と進化（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	都城市												
計画の目標	・下水道が有する汚水の収集・処理といった機能を平時はもとより、大規模災害時においても強くしなやかに発揮し、持続的に提供することを目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	842	A	842	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H30末	中間目標値 R04末	最終目標値 R06末
1	重要な下水道管渠における地震対策実施率を46.6%（H30）から78.5%（R06）に増加させる。 重要な下水道管渠における地震対策実施率 [耐震性能が確保されている管渠延長] / [重要な幹線に該当する管渠延長]	47%	62%	79%
2	重要な下水処理施設における地震対策実施率60%（H30）から65%（R06）に増加させる。 重要な下水処理施設における地震対策実施率 [耐震性能が確保されている施設数] / [重要な下水処理施設数]	60%	60%	65%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

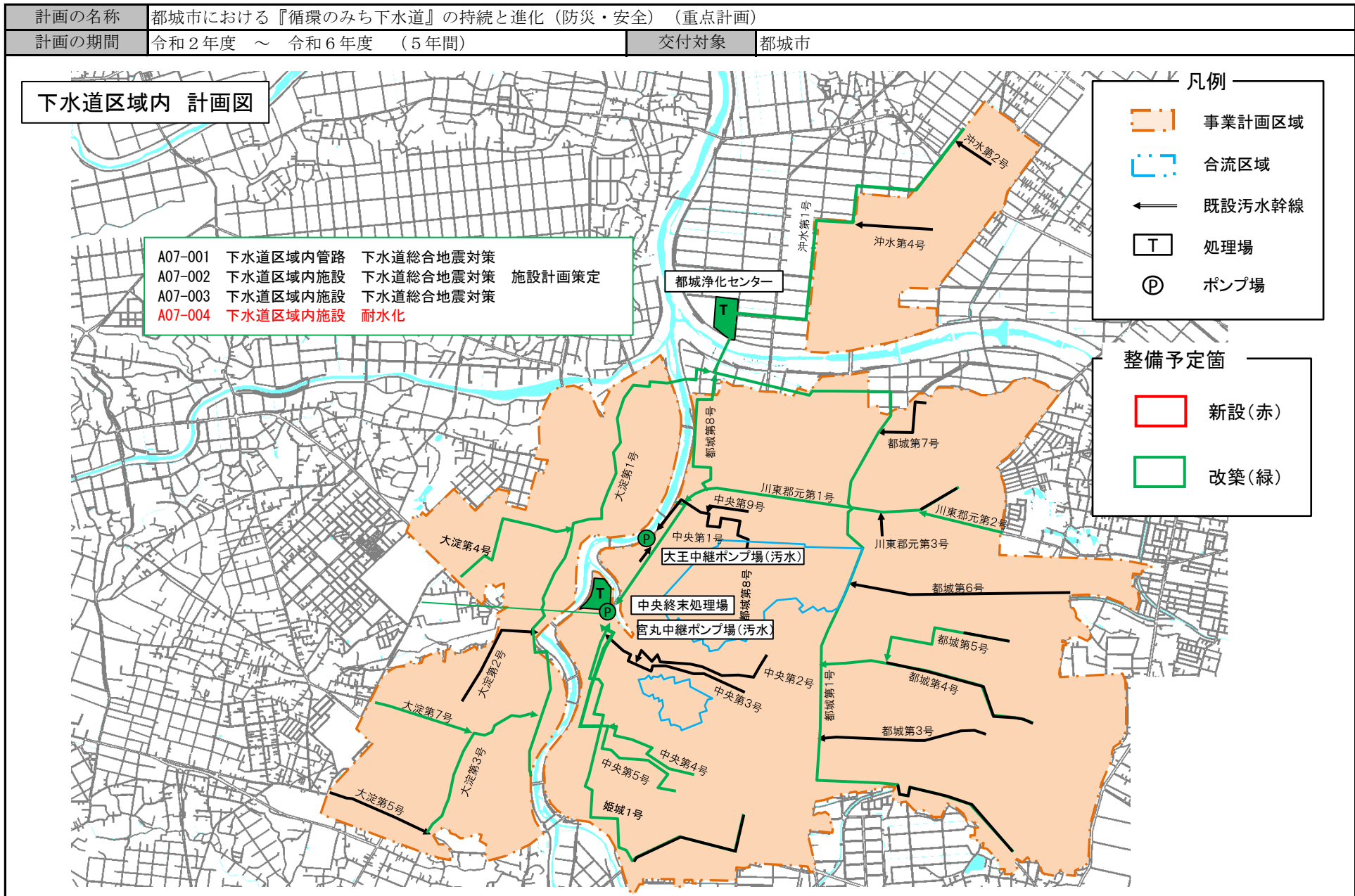
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	都城市	直接	都城市	管渠（ 污水）	改築	下水道区域内管路 下水 道総合地震対策	重要な管路	都城市						580		策定済
		地震																	
	A07-002	下水道	一般	都城市	直接	都城市	終末処 理場	改築	下水道区域内施設 下水 道総合地震対策 施設計 画策定	重要な施設	都城市						17		策定中
		地震																	
	A07-003	下水道	一般	都城市	直接	都城市	終末処 理場	改築	下水道区域内施設 下水 道総合地震対策	重要な施設	都城市						237		策定中
		地震																	
	A07-004	下水道	一般	都城市	直接	都城市	終末処 理場	改築	下水道区域内施設 耐水 化	計画策定	都城市						8		未策定
		耐水化																	
											小計						842		
											合計						842		

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R02				
配分額 (a)	35.930				
計画別流用 増△減額 (b)	0.000				
交付額 (c=a+b)	35.930				
前年度からの繰越額 (d)	0.000				
支払済額 (e)	15.018				
翌年度繰越額 (f)	20.912				
うち未契約繰越額 (g)	20.912				
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000				
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	58.2%				
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	追加補正により年度内完成が 困難となったため				

(参考様式3) (参考図面) 社会資本整備総合交付金 (防災・安全) (重点計画)



事前評価チェックシート

計画の名称： 都城市における『循環のみち下水道』の持続と進化（防災・安全）（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画と適合している	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指数、数値目標の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 指標、通知目標と事業内容の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 指標、数値目標が分かりやすいものとなっている	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている	○
III. 計画の実現可能性 防災、減災対策及び老朽化対策などの熟度が高い	○
III. 計画の実現可能性 事業実施のための環境整備が整えられている	○